学校番号	３２４

平成３１年度　芸術科［美術］

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2	年次	1
使用教科書	「美術Ⅰ」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「鑑賞」の分野について学習します。

・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	自分を見つめ、紹介しよう	【鑑賞】【デザイン】 ・オリエンテーション ・自己分析 ・名刺デザイン ・鑑賞	 ○ ○ ○	 ○	 ○	 ○ ○	a:表現するということに興味をもち自分のよさを積極的に表現しようとする。 b:色や形の役割について理解し小さな画面の中で人に伝えられるデザインを考えられる。 c:オリジナルで相手の印象に残るものを考え作ることができる。 d：自分以外の人の個性を感じ良さを認め合うことができる。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	身近な物のクロッキー&デッサン	【絵画】【鑑賞】 ・クロッキー(身近なもの)筆記用具を書く ・デッサン(物の特徴を捉える)	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:物をよく観察し形を線で表現する面白さを感じる。 b:様々な線を使い分け形や立体感を表現することができる。 c:様々な線を使い分け、表現方法を工夫し、物の特徴を表現できる。 d：自分以外の人の作品を認め評価することができる。	制作の様子 制作途中の作品 作品
	いろんな模様を楽しもう！	【デザイン】【鑑賞】 ・色図鑑をつくる ・色の組み合わせによって受ける印象を考える ・色の効果を踏まえ模様を考える ・さまざまな模様を施した箱のアイデアスケッチ ・アクリル絵の具を利用し模様に着彩する ・相互鑑賞	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:色の美しさ、自分で様々な色を作ることに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

2学期	動物・植物デッサン	【絵画】【鑑賞】 ・動物の毛並みや動物の模様を鑑賞する。 ・動物を観察し鉛筆で描く ・好きな動物を決め模様や形をデザインする ・鑑賞	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:生き物の形や色の面白さを感じ、それを表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:自然の持つ面白さを表現するために道具・用具の特性を生かし表現する構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:自分以外の人の作品を認め評価することができる。	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容
	動物小物	【彫刻】【鑑賞　】 ・アイデアスケッチ ・制作 石粉粘土で成形し、乾燥後削るなどして細部を作る。 アクリル絵の具で着彩する。 ・相互鑑賞	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:粘土やアクリル絵の具、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	デッサン 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品
	日本の美術と文化について	【美術史】 ・日本の美術に関する流れの表を作る ・自分の興味のもっt作品についての鑑賞	○ ○	○		○	a:美術作品とその流れについて関心を持ち、取り組んでいる。 b:鑑賞した作品について分析することができる。 c:日本の美術を取り入れ、自分なりに現代的に表現することができる。 d:日本の美術について理解を深め自分なりに意見を述べることが出来る。	デッサン 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

	ボックスアート	【彫刻】【鑑賞】 ・テーマを決めそれに関する資料を集め、アイデアスケッチをする。 ・箱を作り、テーマに沿って箱の中身を考える。 ・相互鑑賞 プレゼンテーション	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○	a:目的を基に奥行きを意識し制作する、表現活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを表現するための材料の工夫や表現を工夫して表現の構想を練っている。 c:テーマ表現のための材料や色の選択、表現方法を工夫して表現している。 d:奥行きを意識しながら表現するということを理解している。自分以外の人の作品について理解を深めている。	制作の様子 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品
3学期	ミニカレンダー	【デザイン】【鑑賞】 ・それぞれの季節をイメージし、デザインを考え、アイデアスケッチをする。 ・構想を基に自分の表現意図に合う色を選択しアクリル絵の具で着彩する。 ・主題を追及し、表現を深める。 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:季節の特色を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、季節ごとの美しさを見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じてアクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

	拝啓10年後の私へ	【デザイン】【鑑賞】 ・10年後の自分に送る手紙を書くためのレターセットを考えアイデアスケッチをする。 ・便箋・封筒など統一感のあるデザインを考える。 ・自分と向き合って自分を表現するようなデザインの構想を練る ・制作 ・自分の表現意図とあった道具、表現方法を選択する。 ・鑑賞	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○	a:自分の内面や将来を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:自分を表す色や形・将来に対する希望などを込めて考えられる。 c:意図や思いに応じて道具を選択し表現方法を工夫して主題を追及して表現している。 d:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	ワークシート 活動の様子

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。